

平和と善への願いをこめて、皆さまに友情のあいさつをお送りします。

私たちが生きているのは、いちじるしい社会的・文化的・政治的緊張の時代です。人類は深刻な変化をことうむっています。その変化は主として技術的・科学的進歩がもたらしたものです。

進歩の多くは人間に有益ですが、一方で、矛盾と闘

## 「生命の躍動としての平和」へ希望

アドルフ・ペルス・エスキベル

らです。

このように私たちは歴史の「光」と「影」の間を歩みつつ、「自分たちが生きているのは、困難と驚きに満ちた興味深い時代である」と認めざるをえないのです。

しかしながら、人々は、共同体は、宗教は、自己の調和と精神的価値を取り戻そうと努力しています。そ

して、「多様

性と一体性」

を兼ね備え

た豊かで新

しい道は実

争を激化させました。権力闘争であり、政治的・経済的・軍事的闘争です。それらが戦争を、そして飢餓を、

環境破壊を、民衆同士の衝突を引き起こし、その結果、人類は激しい実存的苦悩と平和への深刻な脅威に苦しんでいるのです。また、現代人の思想と生活は、時間の加速に縛られています。「機械的な時間」によって、「自然な時間」のリズムとの間に葛藤が生じているか

は開かれています。それを人生において教え、導くのが法華経なのです。

法華経のそうした価値観は、時がたつにつれ、平和の探求へ、宗教間の理解へ、すべての人権の遵守の追求へ、そして人間生活の多様な表れである子どもたちと女性の権利、ジェンダー、生命倫理などへと道を開いてきました。仏教哲学の思想と価値を通し、法華経

の実践と研究を通して、この価値観は「現在」を照らしているのです。

東洋哲学研究所の歩みは50周年を迎えました。池田大作SGI会長の指導のもと、研究と調査と思索の長い歴史を通して、大乘仏教を深化させ、道を示し、人類に貢献してこられました。池田博士はご自身の体験と確信を通して、聡明に人類に奉仕してこられました。博士の確信とは「仏教は文化的・宗教的に多様な人類の思想の一部であり、人類が継承すべき財産の一部である」ということです。

博士は、宗教間対話の推進にも貢献されています。この対話によってこそ、「生命の躍動」としての平和を、「個人間・民衆間の相互理解」としての平和を建設できるのです。

東洋哲学研究所は、法華経の研究を普及し推進しており、世界の研究諸機関が保管するさまざまな法華経写本を写真版で複製するなど、写本を保護し、刊行されています。この精神の宝と思想を、人類の精神を照らすこの「光」を分かち合えるということは、大きな

希望であります。

東洋哲学研究所の歴史において、諸大学・諸研究機関と共同でのシンポジウムや展示会を通して行われてきた、長期の、実り豊かな仕事に対し、私は連帯の思いと強い支持を表明したいのです。この共同作業は「文化的・社会的に多様な人々の間の平和と団結が、思想と宗教間の相互尊重をもたらす」というメッセージを実行しています。

人類の課題から眼をそらすことなく、より公正で友愛的な社会へと導く良き道を見わけ、選択できるためには、正しい批判意識と価値観が必要です。それらをはぐくむことができるのは、教育を通してこそです。

東洋哲学研究所は、私たちが「光」を見つげるための希望の道をつくってくれているのです。

(Adolfo Pérez Esquivel / アルゼンチンの人権運動家

ノーベル平和賞受賞者)